

初歩から学ぶ量子力学（講談社）

正誤表（第 1 刷用）

佐藤 博彦

2025 年 5 月 14 日

ページ	位置	誤	正	備考
p.15	9 行目	1913 年，ボーアはこの事実とド・ブロイの物質波の考えを組み合わせて，次のような原子模型を提案した	1913 年，ボーアは次のような原子模型を提案した	ボーアが原子模型を提案したのは，ド・ブロイによる物質波の提唱以前の出来事であり，史実に反した記述となっております。
p.35	式 (3.13)	$\dot{\psi}^* x \psi + \psi x \dot{\psi}^*$	$\dot{\psi}^* x \psi + \psi^* x \dot{\psi}$	積分の中身の部分
p.40	式 (3.43)	$\psi^* (-ai\psi'' - bi\psi)$	$\psi^* (ai\psi'' + bi\psi)$	2 行目第 1 式第 2 項
p.40	式 (3.43) および次の行の式	$\psi^{*''}$	ψ''^*	誤りではないが，他の箇所と書式を統一します。
p.40	式 (3.43) の次の行の式	$\psi^{*'}$	ψ'^*	誤りではないが，他の箇所と書式を統一します。
p.42	下から 6 行目	2.3.1 項の式 (2.53) で定義した運動量演算子 $\hat{p}$ を用いて	2.3.3 項で定義した運動量演算子 $\hat{p} = -i\hbar\nabla$ を用い， $\hat{p} = \hat{p} $ とすると	
p.47	3 行目	$\Delta x \leq x < x_j + \Delta x$	$x_j \leq x < x_j + \Delta x$	
p.60	式 (4.65) の 1 行上	式 (4.54) を B について解くと	式 (4.55) を B について解くと	
p.76	5.3.3 項	(球面極座標で表したラプラシアンの導出法について)	(サポートサイトの補足をご参照ください。)	誤りではありませんが，もっと簡単な導出方法がありました。
p.77	式 (5.70) 右辺第 3 項	$+ie^{\pm i\phi} \frac{1}{r \sin \theta} \frac{\partial}{\partial \phi}$	$\pm ie^{\pm i\phi} \frac{1}{r \sin \theta} \frac{\partial}{\partial \phi}$	
p.95	問題 5.5 の 3 行目	m のかわりに $n + 1$ とした	m のかわりに $m + 1$ とした	
p.153	式 (9.2) 1 行目	$\hat{x} [\hat{z}, \hat{p}_z] \hat{p}_x$	$\hat{x} [\hat{z}, \hat{p}_z] \hat{p}_y$	